



産直ニュース（農・畜・水産）44週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。

生活クラブ関西

*納品書「次週以降のお届け」が上手く機能していません。果物類お届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協 事業所	大阪					京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
44週	予約みかん④					ラ・フランス②		たねなし柿<平核無>②	
	王林②	王林①	王林②	王林②	王林②	王林①	王林②	王林①	王林①
45週	予約みかん⑤					ラ・フランス③		富有柿①(!)	
		王林②				王林②		王林②	王林②
46週	予約みかん⑥					富有柿②(!)			
47週						ふじ①			
						予約みかん⑦			
						ふじ②			

*(!)は調整の可能性有ります。

お知らせ 産地情報

■生食用生カキ 生育が遅れています…

45週企画（今週提出）183番「生食用生カキ 150g」は生育が遅れており、水揚げ開始を1週間遅らせることとなり「欠品」となります。大変申し訳ありません。

*秋口までの高水温も直近では平年並みに落ち着いていますが、カキの身入りが出荷基準に到達しておらず水揚げを延期することとなりました。

■ハケタ会(王林・ふじの目合わせ)

◇王林の状況

本誌 43 週号で王林のタンソ病が拡がっている旨お知らせしましたが、10/30に現地目合わせ開催前に園地を視察し、状況を確認しました。右写真は既に収穫を終えた直後で、タンソ病に罹患し表皮に黒い斑点が表れたリンゴは出荷できないので株元に寄せられていました。

*現地の最低気温は数日前からようやく 5℃を割り込み肌寒くなってきましたので、タンソ病の拡がりも収束に向かうと期待しています。

◇ふじの状況

一気に寒くなってきたことで、ふじの色付きも進んでいます。

ふじはタンソ病には比較的強いので大丈夫ですが、9月中旬から褐斑病（葉っぱが黄色く変色して早期に落葉につながる病気です）が拡がりつつあります。一定以上落葉すると光合成が弱まりリンゴも色づかず出荷できないものが増加します。これ以上収穫量が減らないことを祈るばかりです。サビ果は平年よりも多めとなっていますが、食味には影響ありません。



◇目合わせ

会議冒頭、これまでの出荷品種の生産者カード集計（途中）を元に、作柄が良くないシーズンにもかかわらずこれまでの出荷品種では、食味を優先した選果がしっかりできている事、又回収カードコメントから組合員も作柄を理解して食べられている事を報告しました。

引き続きふじの出荷に際しても今年の作柄条件の中で精一杯「食味優先」で選果・出荷することを確認しました。

